

JAGUAR tcs racing

2025 年 2 月 17 日

2024/2025 ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権第 3 戦、第 4 戦
ジッタ E-Prix で JAGUAR TCS RACING のニック・キャンディが初ポイントを獲得



- ダブルヘッダーとなったジッタ E-Prix の初戦、第 3 戦において、ミッチ・エバンスはオープニングラップの接触が影響し 19 位、ニック・キャンディは 11 位と、ポイント圏外でフィニッシュ
- 第 4 戦は、ニック・キャンディが 12 番グリッドからのスタートにもかかわらず 5 位まで追い上げ、今シーズン初ポイントを獲得。ミッチ・エバンスはトップ 8 圏内を走行しながらも、不運なマシントラブルによりリタイア
- レース中に急速充電を行うピットブーストが初導入され、フォーミュラ E は新たな展開へ
- ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキングで 7 位、チームメイトのニック・キャンディは 14 位
- JAGUAR TCS RACING は、チーム・ランキングで 7 位に
- 第 5 戦は、4 月 12 日(現地時間)に、米国・マイアミのホームステッドで開催

JAGUAR tcs racing

2025年2月14日、15日、サウジアラビア・ジッダ発： ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズン第3戦と第4戦、ジッダ E-Prix において、第3戦は JAGUAR TCS RACING の両ドライバーともノーポイントに終わりましたが、第4戦でニック・キャッシュディが5位フィニッシュし、貴重な10ポイントを獲得しました。

第3戦のクオリファイ・セッションで、ミッチ・エバンスはデュエルに進出を果たしましたが、準々決勝でティラー・バーナード (NEOM McLaren FORMULA E TEAM) にわずか0.014秒差で敗れ5番グリッドからの出走となりました。しかし、決勝レースの1周目に、ミッチ・エバンスはパスカル・ウェーレン (TAG HEUER PORSCHE FORMULA E TEAM) とニク・デ・フリース (MAHINDRA RACING) と接触し、フロントウイングにダメージを負ってしまいます。修理のためにピットインを余儀なくされその結果周回遅れとなり、さらに接触による5秒のタイムペナルティが課せられました。チームはマシンをリタイアさせるのではなく、明日の第4戦に向けて可能な限り多くのことを学ぶという選択を行い、ミッチ・エバンスは19位でレースを完走しました。

一方、ニック・キャッシュディも厳しいレースを強いられました。コンマ1秒差でデュエル進出を逃し、9番グリッドからスタートし、序盤は好調に見えた「I-TYPE 7」でしたが、技術的なトラブルが発生します。チームとともにこの問題に対処しベストを尽くしましたが、最終的には11位でフィニッシュし、ポイントを逃します。

翌日の第4戦、クオリファイ・セッションでは、ミッチ・エバンスとニック・キャッシュディは、それぞれ15番手と17番手につけました。

17番グリッドからスタートしたニック・キャッシュディは、ほかのドライバーよりも先に16周目に2度目のアタックモードを発動し、トップ3に浮上します。レース終盤には他のマシンが2度目のアタックモードを使用したため一時は7番手まで順位を下げましたが、非常に効率的な「I-TYPE 7」とニック・キャッシュディのドライビングスキルにより、5位入賞を果たしました。

ミッチ・エバンスは、15番グリッドから一時8位まで順位を上げ、先行車に対してエネルギー的なアドバンテージがあり、また2度目のアタックモードも使えることからレース終盤の展開が有望視されていました。しかし、残念なことにフォーミュラ E の共通コンポーネントであるブレーキ・バイ・ワイヤーの不具合によりリタイアを余儀なくされてしまいました。

2024/2025 ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権のドライバーズ・ランキングでは、ミッチ・エバンスが7位、チームメイトのニック・キャッシュディが14位につけています。

JAGUAR TCS RACING はジッダ E-Prix のダブルヘッダーを終えてチーム・ランキングで7位に、シーズン4戦を終えて1勝を挙げた JAGUAR はマニュファクチャラーズ・ランキングで4位につけています。

JAGUAR tcs racing

JAGUAR TCS RACING チーム・プリンシパルを務めるジェームズ・パークレーのコメント:

「我々にとってとてもチャレンジングな週末でした。チームは懸命に努力し、2 台とも素晴らしい効率で前進し、マシンのポテンシャルを証明してくれました。ニックとチームは素晴らしい走りを見せてくれました。今週末のいくつかの問題を考えれば、彼の 5 位フィニッシュは我々にとって勝利のように感じられます。ミッチと彼のチームには本当に不運としかいいようがなく同情します。今の我々の計画では、特に1 周のペースの改善に集中することに重きを置いています。素晴らしいドライバー、素晴らしいチーム、そして強力なマシンと、核となる要素はすべて揃っています。いま直面しているいくつかの問題を解決できれば、残りのシーズンでいいポジションに立てるでしょう。」

JAGUAR TCS RACING ドライバー、ミッチ・エバンス(#9)のコメント:

「第3 戦はレースがほぼできない状態でしたが、第4 戦はマシンのポテンシャルがとても高いと感じていましたし、周りの選手と比べてもエネルギーが十分にあり、アタックモードも残っていたので、もし最後まで走りきれたならば、いい戦いができたと思います。これからマイアミまでの間にやるべきことがたくさんありますが、ライバルとの差を埋めるべく努力していきます。」

JAGUAR TCS RACING ドライバー、ニック・キャシディ(#37)のコメント:

「我々のシーズンはここからが本当の始まりです。これまでの数戦、思うような走りができていませんでしたが、今日はチームが素晴らしい仕事をしてくれて、ポイント争いができる状態にマシンを戻してくれました。堅実なレースができとても気分がいいです。まだやるべきことは残っていますが、今回の戦略には満足しています。我々の戦略チームはピットレーンにおいてベストな仕事をしてくれるので、彼らのおかげで自信をもって走ることができます。」

ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズンの第 5 戦は、2025 年 4 月 12 日に米国・マイアミにて開催されます。

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2025 年 2 月 14 日、15 日(現地時間)に発表したプレスリリースの翻訳です。

以上

エディターズ・ノート

JAGUAR TCS RACING について

JAGUAR は 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。



JAGUAR tcs racing

2024年、JAGUAR TCS RACING が ABB FIA フォーミュラ E のチーム・チャンピオンシップを獲得し、JAGUAR にとって 1991 年以來となる世界選手権制覇を達成しました。また、JAGUAR は GEN3 時代のフォーミュラ E レーシングマシンである「I-TYPE 6」で、新設されたマニファクチャラーズ・タイトルも獲得しました。

JAGUAR TCS RACING のドライバーであるミッチ・エバンスとニック・キャシディは、2023/2024 シーズンのドライバーズ・ランキングでそれぞれ 2 位と 3 位となり、フォーミュラ E が GEN3 Evo 時代へと移行するシーズン 11 にも、チームの一員として再び参戦します。シーズン 11 と 12 にまたがる GEN3 Evo では、新しいパワートレインや、クオリファイ・セッションおよびレースの一部のフェーズで全輪駆動を採用するなど、世界唯一のネットカーボンゼロの電動レーシングマシンは、さらなる技術的進歩が見込まれています。

また、2026 年にスタートするシーズン 13-16 の GEN4 時代への継続参戦することを決定し、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権への長期的なコミットメントを表明しました。

フォーミュラ E は、オール電動のコンセプトだけでなく、開催地の選択においてもモータースポーツ界ではユニークな存在です。2024/2025 シーズンの世界選手権では、サンパウロ、ディルレーヤ、東京、モナコなど、世界の主要都市の中心部に作られる仮設のストリートサーキットで多くのイベントが開催される予定です。また、新たな開催地としてマイアミが加わり、シーズン最終戦は再びロンドンでダブルヘッダーのレースウィークエンドとして開催される予定です。

JAGUAR TCS RACING はフォーミュラ E の公式マニファクチャラー・チームとして、モーター・ジェネレーター・ユニット、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。JAGUAR は、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるフォーテスキューZero を通じて ENVISION RACING に GEN3 Evo のパワートレインを供給します。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的かつ軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバー (JLR) のフルバッテリー電気自動車 (BEV) のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E への参戦は、JLR が掲げる「REIMAGINE」戦略の実現に向けた最重要事項であることに変わりはありません。フォーミュラ E は電気自動車による世界選手権の最高峰であり、チームは高性能が求められる環境で新しい EV テクノロジーをテストして開発することができます。チームのミッション「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」のテストベッドであり続け、そこから得られる「Race to Road (レースで得た知識や経験を市販車へ)」、そして「Road to Race (市販車からレースへ)」と相互の学びによって、JAGUAR の EV の未来を切り開いていくのに寄与します。

JAGUAR TCS RACING は、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットゼロカーボンレースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。

詳細については、<https://media.jaguarracing.com/>をご覧ください。

JAGUAR tcs racing

Tata Consultancy Services (TCS)について

TCS は、56 年以上にわたって数多くの世界最大規模のビジネスをデジタルに変革してきた、IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションを提供する企業です。JLR の長年にわたる戦略的テクニカルパートナーである TCS は、新しいテクノロジーを活用して、レースチームの電動化を促進し、レースで勝利して、より持続可能な未来を構築する活動をサポートしています。TCS はより良い未来の構築に取り組み、サーキットで得たノウハウを活用して、モビリティ・エコシステムを変革しています。タタ・グループの一員である TCS は、世界中に 61 万 2,000 人を超えるコンサルタントを擁しています。

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00-18:00、土日祝日を除く)

